

工学部・工学府における新型コロナウイルス感染症のもとで教育・研究活動を取り戻すための活動制限方針

感染状況により制限段階の緩和もしくは厳格化を学府長の判断で実施する。

2022年6月1日

| 制限段階 | 研究活動 | 授業 | 学生の課外活動 | 小金井図書館 |
|------|--|--|---|---|
| 0 | (状態) 制限なし | (状態) 制限なし | (状態) 制限なし | (状態) 制限なし |
| 1 | <p>(状態) 感染リスクを制御しつつ通常の研究活動を取り戻す</p> <ul style="list-style-type: none"> 対面による研究室活動を前提とするが、必要な感染防止対策を講じる(学生の意思を最優先としつつ最大限の研究活動の正常化を目指す状態) 学生は研究室活動を行うにあたり【研究室活動にかかる確認書】フォームへの回答必須 オンラインを活用し、対面でなくても可能な場合はオンラインを優先 複数人数による会食などは、東京都や政府の方針に従う 学生の国内における学外研究活動、学会発表は、感染対策を確認の上で許可 学生の海外出張の可否は全学ガイドラインに準ずる マスク着用義務(不織布マスクを推奨) | <p>(状態) 感染リスクを制御しつつ通常の教育活動を取り戻す</p> <ul style="list-style-type: none"> ハイブリッド教室を活用した試験定員(通常の50%)における対面講義を原則。 配慮願ひ申請・許諾の上、自宅オンラインによる受講可。ただしその場合でも、実験・実習や体育等の実技科目は学科や教員が定める方法で行う。配慮願ひの提出、中止は随時可 感染拡大に配慮の上で実習・演習・実験の対面実施可(通学できない学生にも配慮) 校外実習などは感染対策の上で実施可。ただし、解散後は直帰を原則 定期試験は担当教員が指定する方法で実施 教室における飲食は禁止。大学生協、エリプス、けやきホールは食事のみの利用とし、歓談などは禁止 登校前の自主検温を義務とし、体調がすぐれない場合は登校を控える 屋内の授業、実験・実習においてはマスク着用を義務とする。(不織布マスクを推奨) 屋外実習・体育の授業において、2m以上の距離・間隔を取れることを条件として、マスク着用を不要とする 屋外でも会話を伴う場合は、必ずマスク着用とする。 | <p>(状態) 制限付きで解禁</p> <ul style="list-style-type: none"> 全学の方針に準ずる | <p>(状態) 感染リスクを制御しつつ通常の図書館サービスを取り戻す。座席数 40-60%減</p> <ul style="list-style-type: none"> 換気が不十分なフロアは閉室 館内全エリアを個別学習用のスペースとする。グループワークの再開は状況に応じて検討する。 グループ学習室は、学習、研究等の利用目的にて発話可能なスペースとする(利用例: 双方向型のオンラインによる講義・面談・就職活動等。) ※事前申込制 館内の利用状況に応じて、座席を追加開放 感染症への懸念から登校を避け、自宅等で学習する利用者を対象に、貸出図書、館内資料での複写物(論文コピー等)、ILL複写物を郵送 郵送での返却可 館外ブックポストの開放 学外者の利用不可 マスク着用義務(不織布マスクを推奨) |
| 2 | <p>(状態) 感染拡大に最大限配慮の上で研究室活動可</p> <ul style="list-style-type: none"> 学生の研究室活動可(ただし学生の意思を最優先、自宅での研究活動も了承)、公共交通機関を利用する場合は時差通学等を推奨 三密状態となる研究室においては登校シフト制などによる出席者削減の努力 学生は研究室活動を行うにあたり【研究室活動にかかる確認書】フォームへの回答必須 オンラインを積極的に活用した研究指導、ゼミ活動 複数人数による会食や飲食会などの禁止 学生の国内における学外研究活動、学会発表は、感染対策を確認の上で許可 マスク着用義務(不織布マスクを推奨) | <p>(状態) 感染拡大に最大限配慮の上で対面授業実施可</p> <ul style="list-style-type: none"> オンライン講義を原則。感染拡大に最大限配慮の上で対面講義可(教室人数は試験定員の1/2以内、週番号制の活用、通学できない学生にも配慮) 感染拡大に最大限配慮の上で実習・演習・実験の対面実施可(通学できない学生にも配慮) 校外実習などは感染対策の上で実施可。ただし、解散後は直帰を原則 定期試験は担当教員が指定する方法で実施 教室における飲食は禁止。大学生協、エリプス、けやきホールは食事のみの利用とし、歓談などは禁止 登校前の自主検温を義務とし、体調がすぐれない場合は登校を控える マスク着用義務(不織布マスクを推奨) | <p>(状態) 制限付きで解禁</p> <ul style="list-style-type: none"> 全学の方針に準ずる | <p>(状態) 閉館時間短縮、館内利用制限エリアの緩和、座席数 50-80%減</p> <ul style="list-style-type: none"> 換気が不十分なフロアは閉室 グループ学習室は、学習、研究等の利用目的にて発話可能なスペースとする。(利用例: 双方向型のオンラインによる講義・面談・就職活動等。) ※事前申込制。個人での利用に限る。グループワーク不可 座席指定制 オンライン受講者及び感染症への懸念から登校を避け、自宅等で学習する利用者を対象に、貸出図書、館内資料の複写物(論文コピー等)、ILL複写物を郵送 郵送での返却可 館外ブックポストの開放 学外者の利用不可 マスク着用義務(不織布マスクを推奨) |
| 3 | <p>(状態) 感染拡大に最大限配慮の上で研究室活動可</p> <ul style="list-style-type: none"> 学生の研究室活動可(ただし学生の意思を最優先、自宅での研究活動も了承)、公共交通機関を利用する場合は隔日登校・時差通学等を強く推奨 三密状態となる研究室においては登校シフト制などによる出席者削減の努力 学生は研究室活動を行うにあたり【研究室活動にかかる確認書】フォームへの回答必須 オンラインを積極的に活用した研究指導、ゼミ活動 複数人数による会食や飲食会などの禁止 マスク着用義務(不織布マスクを推奨) | <p>(状態) オンライン講義のみ</p> <ul style="list-style-type: none"> オンライン講義を原則 定期試験は担当教員が指定する方法で実施 | <p>(状態) 全面禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> 全面禁止 | <p>(状態) 閉館時間短縮、館内利用エリアの制限、座席数 90%以上減</p> <ul style="list-style-type: none"> 換気が不十分なフロアは閉室 書架の資料は、状況に応じて閉架フロア(出納制)と開架フロアを段階的に変更する 座席指定制 オンライン受講者及び感染症への懸念から登校を避け、自宅等で学習する利用者を対象に、貸出図書、館内資料の複写物(論文コピー等)、ILL複写物は自宅に送付(事前申込制) 郵送での返却可 館外ブックポストの開放 学外者の利用不可 マスク着用義務(不織布マスクを推奨) |
| 4 | (状態) 原則活動中止 | (状態) オンライン講義のみ、もしくは延期 | (状態) 全面禁止 | <p>(状態) 臨時休館</p> <ul style="list-style-type: none"> 貸出図書、館内資料の複写物(論文コピー等)、ILL複写物を郵送 郵送での返却可 ILL私費依頼、貸借図書の依頼は停止 |